

令和3（2021）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（一般選抜）

（科目名）

民法

以下の【第1問】および【第2問】のすべてに解答しなさい。

【第1問】 XとAは、Xが所有する土地甲をAに売却する旨の契約を締結し、XからAへの甲の所有権移転登記が行われた。その後、この売買契約がAの詐欺によるものであることが判明し、Xは、Aに対して契約を取り消す旨の意思表示をした。しかし、Xによる取消しの後、甲の登記名義がXに戻される前に、Aは、Yに対して甲を売却し、登記名義も移してしまった。この場合のXとYの法律関係を、取消しの遡及効との関係に言及しながら説明しなさい。

【第2問】 医師Yは、患者Aに、その依頼に基づいて手術を施した。しかし、Aは、手術中に容体が急変し、その後死亡した。この場合において、Aの子であり唯一の相続人であるXは、手術の経過についてYに対して説明を求めることができるかについて論じなさい。